

「三重県まん延防止等重点措置」を踏まえた学習活動

2022年1月19日

(1) 感染症対策と健康管理の徹底

- ① 児童の同居の家族に発熱等風邪症状が見られる場合は、登校を控える
- ② 児童は、残さずに下校させる

(2) 各教科等の指導における対策

各教科における「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」として、以下のような活動が挙げられる。これらについては、換気、身体的距離の確保や手洗いなどの感染症対策を十分に行ったうえで慎重に実施する。

- ① 各教科等に共通する活動として「児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
 1. 近い距離で長時間顔を突き合わせてというのは避ける。外国語の学習でコミュニケーションを取ることもあるが、パーテーションを使用して行う。
- ② 理科における「児童同士が近距離で活動する実験や観察」
 1. 15分以上対面で行う実験は実施しない。教師が師範実験をして理解させる。
※ 見るときも密集しないようにする
 2. 実験を行う場合は、実験器具の消毒は事前にしておく。また、実験時間をできる限り短くする。
- ③ 音楽における「室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
 1. 「狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体接触を伴う活動」はできない
 2. リコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏は実施しない。歌を歌う際には換気・距離・向き・時間に気を付けて同様のことに気を付けてマスクを着用したうえで行う。
 3. なかまとの接触をとまなう活動は避ける（タッチなど）。
- ④ 図画工作、美術における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- ⑤ 家庭における「児童同士が近距離で活動する調理実習」
 1. 調理実習は、実施しない。

- ⑥ 体育、保健体育における「児童が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」「密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動」はできない。

但し、熱中症対策を踏まえて以下のようにする。

※ マスクは外してもよい。

※ マスクを着用している児童には、苦しくなったときはマスクを外し、人と2m以上の距離をとって休憩するよう予め指導する。

1. ドッジボール・バレーボールなどの多少の接触の可能性がある運動は、外で行う場合は、コートを大きくしたり、コート内の人数を減らしたりする。また、室内で行う場合は、換気をした上で人数を減らす。
2. 遊具・器械・器具を使った運動は、使用前後の消毒を充分に行う。
マット運動・台上前転などの身体と器具の接触が多い運動は行わない。
3. 外で行う鬼遊びは対象場所を広く取り、短時間で行う。
室内では実施しない。

(3) その他

① 児童の不要な交流は避ける

1. 掃除は学級掃除で行う
2. 他学年との交流は行わない

② 職員について

1. 同居の家族に発熱等風邪症状が見られる場合は、出勤を控える